



大正から戦後、高度成長へ

火災、天災、戦災を乗り越えて、沼津は成長期を迎えます。

大正

- 1923** (大正12年) 7月 沼津町と楊原村が合併し、沼津市となる (人口3万4482人)
- 1926** (大正15年) 12月 沼津大火 (全焼763戸)

昭和

- 1927** (昭和2年) 8月 沼津市の市章が制定される
- 1928** (昭和3年) 6月 旧市役所庁舎新築 (御幸町現在地)
- 1932** (昭和7年) 7月 大瀬崎のピヤクシンが国の天然記念物に指定される
- 1937** (昭和12年) 5月 沼津港内港竣工



旧沼津市役所庁舎

- 7月 御成橋改築架橋
- 1944** (昭和19年) 4月 片浜村、金岡村、大岡村、静浦村の4村が沼津市と合併 (人口9万6350人)
- 1945** (昭和20年) 7月 沼津大空襲



昭和20年7月、空襲を受けた市街地

- 1946** (昭和21年) 1月 御殿場線大岡駅開業
- 1953** (昭和28年) 3月 沼津駅舎新築完成



昭和28年に完成した沼津駅舎。駅前も整備され、最新型のタクシーが並ぶ

- 1954** (昭和29年) 8月 本通りのアーケードが完成



全国で初めてつくられたアーケード街。昭和30年頃

- 1955** (昭和30年) 4月 愛鷹村、大平村、内浦村、西浦村の4村が沼津市と合併 (人口13万193人)
- 1958** (昭和33年) 9月 狩野川台風が襲来し、大きな被害を受ける



昭和33年頃の沼津駅前

- 1962** (昭和37年) 10月 市立駿河図書館オープン
- 1965** (昭和40年) 7月 狩野川放水路完成

- 1966** (昭和41年) 7月 現市役所庁舎完成



現市役所庁舎完成

- 1968** (昭和43年) 3月 港大橋開通
- 4月 原町が沼津市と合併 (人口18万4173人)
- 1970** (昭和45年) 4月 市の花を「はまゆう」、市の木を「松」に制定
- 7月 沼津御用邸記念公園開園
- 1973** (昭和48年) 6月 市立少年自然の家オープン
- 7月 市制50周年。市民憲章を制定
- 10月 市民体育館オープン
- 1974** (昭和49年) 12月 歴史民俗資料館オープン
- 1975** (昭和50年) 4月 沼津方式によるごみの分別収集開始
- 1980** (昭和55年) 3月 屋内温水プールオープン
- 12月 青少年健全育成都市宣言
- 1982** (昭和57年) 7月 市民文化センターオープン



オープンした市民文化センター

- 1984** (昭和59年) 10月 明治史料館オープン
- 1986** (昭和61年) 4月 保健センター、青少年教育センターオープン
- 1987** (昭和62年) 3月 東海道線片浜駅開業
- 3月 核兵器廃絶平和都市宣言
- 11月 若山牧水記念館オープン
- 1988** (昭和63年) 7月 市立病院が東椎路に新築移転



平成から令和、そして次の100年へ

県東部を担う中心都市としての機能を高めています。

平成

- 1990** (平成2年) 4月 永代橋改築架橋
- 1991** (平成3年) 3月 沼津～新宿間直通電車「あさぎり」運行開始
8月 市立沼津高校夏の甲子園大会出場
- 1992** (平成4年) 4月 西浦河内に市民の森オープン
7月 岩崎恭子選手がバルセロナオリンピック水泳女子200m平泳ぎで金メダル
8月 桐陽高校夏の甲子園大会で1勝
- 1993** (平成5年) 7月 市立図書館オープン
- 1994** (平成6年) 8月 沼津御用邸記念公園西附属邸を改修公開
- 1995** (平成7年) 4月 高齢者等福祉世代交流活動施設「千本プラザ」オープン
- 1996** (平成8年) 3月 香貫大橋開通



香貫大橋開通

- 1997** (平成9年) 4月 上土町・通横町市街地再開発事業が竣工
4月 我入道の渡し船の運航を再開
- 1998** (平成10年) 10月 旧「キラメッセぬまづ」オープン
- 1999** (平成11年) 3月 あゆみ橋開通
4月 沼津御用邸記念公園東附属邸オープン
4月 新南消防署・消防指令センター完成
11月 駿豆地区の市町村間で住民票の写し及び印鑑登録証明書の広域交付開始

- 2000** (平成12年) 2月 国際標準規格ISO14001を審査登録
4月 ミューバス片浜循環運行開始
7月 ビーバス運行開始
11月 特例市へ移行
11月 沼津市庄司美術館「モン ミュゼ沼津」オープン
- 2001** (平成13年) 3月 駐車場案内システム運用開始
8月 ミューバス原循環運行開始
8月 ぬまづ産業振興プラザオープン
- 2002** (平成14年) 5月 子育てサポートキャラバン開始
7月 沼津駅北口駅前広場完成
- 2003** (平成15年) 2月 社会福祉会館移転オープン
4月 市立沼津高校中等部開校
4月 3市2町で消防緊急情報指令システムを共同運用開始
- 2004** (平成16年) 5月 南部浄化センターオープン
9月 大型展望水門施設「びゅうお」オープン
9月 屎尿処理施設「アクアプラザ」オープン



大型展望水門施設「びゅうお」オープン

- 2005** (平成17年) 4月 戸田村が沼津市と合併(人口21万1244人)
- 2006** (平成18年) 4月 隣接校選択制開始
4月 市立看護専門学校開校
4月 市内の小・中学校の授業に「言語科」を新設
7月 松城家住宅が重要文化財に指定
11月 沼津駅付近鉄道高架事業認可取得



第39回技能五輪国際大会開催



市立看護専門学校開校

- 2007** (平成19年) 11月 第39回技能五輪国際大会開催
11月 県東部地域コンベンションビューロー設立
12月 ぬまづ健康福祉プラザ「サンウェルぬまづ」オープン



ぬまづ健康福祉プラザ「サンウェルぬまづ」オープン

- 2008** (平成20年) 3月 再開発ビル「イーラde」オープン
4月 牛臥山公園オープン
5月 ロボカップジャパンオープン開催
12月 男女共同参画推進事業所認定式



牛臥山公園オープン

- 2010** (平成22年) 3月 沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具が重要有形民俗文化財に指定
- 2012** (平成24年) 4月 新東名高速道路開通
4月 NEOPASA駿河湾沼津オープン
- 2013** (平成25年) 6月 多目的展示イベント施設「キラメッセぬまづ」先行オープン
7月 市制施行90周年記念事業「ぬまづLOVEフェスタ」開催



「ぬまづLOVEフェスタ」開催

- 2014** (平成26年) 4月 市立静浦小中一貫学校開校
7月 ふじのくに千本松フォーラム「ブラサヴェルde」グランドオープン



ふじのくに千本松フォーラム「ブラサヴェルde」グランドオープン

- 2015** (平成27年) 4月 道の駅「くるら戸田」オープン
- 2016** (平成28年) 3月 東名高速道路路愛属スマートインターチェンジ開通
- 2017** (平成29年) 3月 新東名高速道路駿河湾沼津スマートインターチェンジ開通

令和

- 2019** (令和元年) 1月 公益社団法人日本フェンシング協会と連携協定を締結
- 2020** (令和2年) 7月 東京オリンピックフェンシング日本代表及びカナダ代表事前合宿実施
8月 加藤学園高等学校甲子園交流試合出場
- 2021** (令和3年) 2月 新貨物ターミナル用地の取得完了
6月 フェンシング交流拠点施設「F3 BASE」オープン



フェンシング交流拠点施設「F3 BASE」オープン

- 2023** (令和5年) 3月 沼津市総合体育館「香陵アリーナ」オープン
7月 市制100周年



沼津市総合体育館「香陵アリーナ」オープン

名誉市民

名誉市民の称号は、沼津市の市民及び沼津市に縁故の深い人、学術、芸術、その他社会文化の進展興隆に貢献し、または市の功勞者としてその実績が卓越、市民の尊敬の的と仰がれる人に、市議会の議決を経て贈られます。



岡野 喜太郎 さん
(昭和35年称号贈呈)

元治元年(1864年)、駿東郡青野村(現沼津市)に生まれる。明治12年(1879年)県立沼津中学校入学。暴風による大飢饉を救うため、明治18年(1885年)に藍山師範学校を退学し、明治20年(1887年)共同社貯蓄組合を創立して、業績をあげる。明治28年(1895年)、根方銀行を創立し頭取となり、明治45年(1912年)駿河銀行と改称。常に堅実経営に徹し、業績をあげていった。

教育にも熱心で、昭和17年(1942年)には愛鷹小学校に田畑を寄付する。昭和25年(1950年)には愛鷹村に教育基金を寄付し、昭和37年(1962年)、駿河銀行会長として

本市に金4,000万円を寄贈、駿河図書館を建設するなど尽力した。昭和38年(1963年)には、財団法人駿河奨学会を設立し、経済上の理由で学業に専念できない学生を支援している。

産業界及び教育界への貢献に対して、本市は昭和35年(1960年)、市最初の「名誉市民」の称号を、また全日本銀行協会は「長老」の称号を捧げた。昭和39年(1964年)、勲三等瑞宝章を授与される。昭和40年(1965年)、死去に際し従四位に叙せられ、天皇陛下より祭葬料を賜った。

明治29年(1896年)、駿東郡揚原村(現沼津市)に生まれる。大正4年(1915年)、県立沼津中学校を卒業後、沼津尋常高等小学校の代用教員となる。大正8年(1919年)、第一高等学校仏法科を卒業し、同年東京帝国大学経済学部に入学。卒業後は農商務省に勤務した。大正14年(1925年)、農商務省を辞任し、夫妻で渡仏、パリ大学に入学。

帰国後の昭和5年(1930年)、滞在中の体験をもとに書いた改造社懸賞応募作品「ブルジョア」が一等当選する。昭和40年(1965年)、「人間の運命」(第一部)により芸術選奨文芸大賞を受賞。昭和43年(1968年)、勲三等瑞宝

章を授与され、昭和44年(1969年)、大河小説「人間の運命」に対して日本芸術院賞を受ける。日本ペンクラブ会長、ユネスコ国内委員等を歴任。

海外においても、昭和34年(1959年)、フランス詩人連盟よりフランス友好国際大賞を、昭和49年(1974年)、日文化交流の功勞者としてフランス政府から文化勲章コマンドールを贈られた。

本市では、昭和45年(1970年)、我入道に芹沢文学館(現沼津市芹沢光治良記念館)が建設された。昭和54年(1979年)、名誉市民に推される。平成5年(1993年)永眠。



芹沢 光治良 さん
(昭和55年称号贈呈)



写真：東京大学文学部提供
井上 靖さん
(昭和58年称号贈呈)

明治40年(1907年)、北海道旭川町(現旭川市)に生まれる。幼時を天城湯ヶ島(現伊豆市)で過ごす。大正15年(1926年)、県立沼津中学校を卒業後、第四高等学校卒業、九州帝国大学文学部英文科を中退し、昭和11年(1936年)、京都帝国大学文学部哲学科を卒業。大阪毎日新聞へ入社。昭和12年(1937年)には日中戦争で応召したが、翌年脚氣のため除隊した。

昭和24年(1949年)、「闘牛」で文壇に登場し、昭和39年(1964年)、芸術院会員に推される。昭和51年(1976年)、文化勲章を受賞。昭和56年(1981年)には日本ペンクラブ

会長となる。主な受賞作として、「闘牛」で芥川賞、「天平の塵」で芸術選奨文芸大臣賞、「氷壁」その他により芸術院賞、「敦煌」楼閣で毎日芸術大賞、「淀どの日記」「孔子」で野間文芸賞、「おろしや国酔夢譚」で日本文学大賞などがある。

昭和38年(1963年)、千本浜公園内に井上靖文学碑が建てられる。昭和39年(1964年)には、沼津中学時代の自伝小説「夏草冬凍」を発表した。昭和58年(1983年)に名誉市民に推される。平成3年(1991年)永眠。

大正9年(1920年)、駿東郡鷹根村(現沼津市)で生まれる。昭和13年(1938年)、県立沼津中学校を卒業。昭和16年(1941年)旧制静岡高等学校、昭和18年(1943年)東京帝国大学理学部化学科を卒業し、昭和34年(1959年)には東京大学教授、昭和56年(1981年)には東京大学名誉教授となる。

その間、「分子の電子構造及び分子間相互作用に関する研究」で日本化学会賞、「分子化合物の電子論的研究」で朝日賞、「短寿命励起分子及び反応中間体の電子構造と反応性の研究」で日本学士院賞をそれぞれ受賞。また、昭和60年(1985年)、文化功勞者に選ばれ、平成2年(1990年)

には文化勲章を受賞した。

IUPAC(国際純正・応用化学連合)会長、社団法人日本化学会会長、岡崎国立共同研究機構長、総合研究大学院大学長、英国王立科学研究所名誉会員、スウェーデン王立科学アカデミー会員などを歴任。

平成元年(1989年)、母校である愛鷹小学校の校庭にニュートンが「万有引力の法則」を発見するきっかけとなった「りんごの木」の子孫が長倉善一の介介で接木された。平成2年(1990年)、名誉市民に推される。令和2年(2020年)永眠。



長倉 三郎 さん
(平成3年称号贈呈)



大岡 信さん
(平成16年称号贈呈)

昭和6年(1931年)、田方郡三島町(現三島市)に生まれる。昭和22年(1947年)静岡県立沼津中学校、昭和25年(1950年)第一高等学校、昭和28年(1953年)東京大学文学部国文科を卒業。読売新聞社に入社したのち、昭和31年(1956年)、第一詩集「記憶と現在」を発売。退社後、明治大学助教授、明治大学教授、東京芸術大学教授等を務めた。

その間、「蕩児の家系 日本現代詩の歩み」で歴程賞、「紀貫之」で読売文学賞、「春 少女」で無限賞、「折々のうた」で菊池寛賞、「故郷の水へのメッセージ」で現代

詩花椿賞、「詩人・菅原道真」で芸術選奨文芸大賞賞、「地上楽園の午後」で詩歌文学館賞を受賞。

また、フランス芸術文化勲章オフィシエ章等を受賞、日本現代詩人会会長、日本ペンクラブ会長等を歴任した。平成9年(1997年)には文化功勞者、平成15年(2003年)には文化勲章を受賞。

歳々ぬまづ大使、山口源大賞選考委員長等を務め、平成9年(1997年)には、沼津市特別表彰を受賞した。平成15年(2003年)名誉市民に推される。平成29年(2017年)永眠。